

結婚 50 年を迎えて 大山町金婚式



謝辞を述べる大原茂利・永枝夫妻

結婚50周年を迎える町内在住のご夫婦をお祝いする大山町金婚式が、11月22日(いい夫婦の日)(水)に、保健福祉センター(水)に、保健福祉センター)なわで盛大に開かれました。

今年度は、昭和32年3月31日以前に結婚されたご夫婦が対象で、対象73組のうち58組のご夫婦が出席されました。

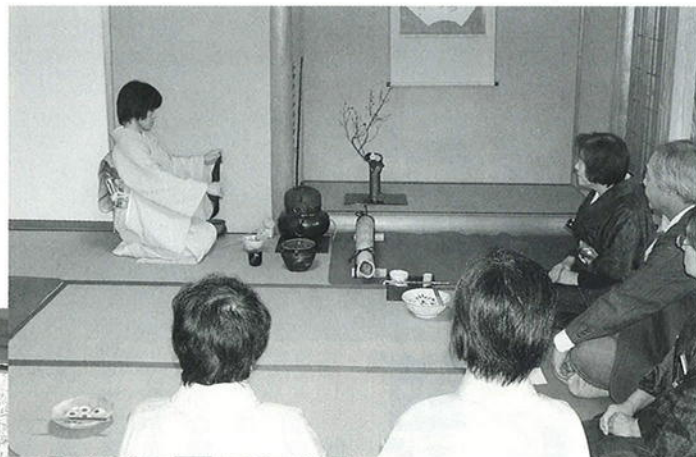
このうち所子の大原茂利・永枝夫妻が金婚式該当者を代表して謝辞を述べられました。その

中で茂利さんは「私たちの世代は妻にお礼を直接言うのは照れくさくてなかなか言えないが、この場を借りて今までの感謝の意を妻に伝えたい」と言われ、続けて「今までいろんなことがあったけど寄り添ってくれてありがとう」と大きな声ではつきりと言われ、会場から大きな温かい拍手がわき起こりました。

これからも夫婦仲良く元気にお過ごしください。

お茶と琴の競演

公民館サークル・同好会グループ
(お茶・琴の部)の交流会



お手前を披露する「お茶を楽しむ会」会員さん



琴の音を聞きながらお茶をたしなみました

大山・中山・名和公民館で活動しているサークル・同好会グループで「交流を深め、仲間の輪を広げよう!」と、「お茶・琴の部」の交流会を11月11日(土)に片木アルミニウム(有美園)内にあるお茶室で行いました。

中山・大山の琴教室のみなさんの琴の音が流れるなか、大山公民館の「お茶をたしなむ会」のみなさんによるお手前を披露していただき幽玄なひとときを過ごしました。

今回の交流を通じて、「今度は、町民のみなさんにお手前を披露できるようにがんばりましょう」と奮起しておられました。これからの活動の励みになった交流会でした。